

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	0405	芸術文化推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	1	芸術文化活動の推進			
目的	芸術に親しむ機会の提供					
対象	市民					
意図	市民が身近な場所で気軽に芸術文化にふれ親しむことができる。					
事業概要						
<input type="checkbox"/> 小学生アートセミナー事業 小学生の芸術文化活動の充実 <input type="checkbox"/> はなまきまるごと芸術のまち事業 市所蔵美術品を貸出し展示することにより広く鑑賞機会の提供						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 後援・協賛		<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> 補助・助成		
		<input type="checkbox"/> 事業協力・協定 <input type="checkbox"/> 委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 貸出美術展数	点		計画			
			実績		18	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 小学生アートセミナー参加者数	人		目標		120	
			実績	116	116	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
芸術文化活動の導入である児童期に芸術文化活動に対して理解と親しみを醸成させることを目的とする事業への参加状況は、将来的に市民全体の文化意識の向上がはかれると考えることから設定した。芸術文化活動に興味を持っている児童は多く、小学生アートセミナーは定員を上回るほど受講希望者があり、参加者アンケートでもその満足度は高かった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	こどもたちをはじめとする、市民がゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現するためには、行政の関わりは重要である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	身近な場所で気軽に芸術文化にふれることが可能となる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	関係文化団体と連携を図り実施。また可能な限り最小限の経費で対応しており削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	全市民を対象とした事業であるので公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価		
創造性豊かな芸術文化の振興を図るため、感受性の豊かな時期に子供たちへ芸術文化に関する導入機会の提供や、市民が日常的に芸術に親しめるような環境づくりの整備を行い、すべての市民がゆとりと潤いの実感できる心豊かな生活を実現していくよう努めた。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習交流課 担当係長 小原美知子 内線 418  
(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
1	10	5	1	0405	芸術文化推進事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			1,840		1,840
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		1,840		1,840

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標  
文化の香り高いまちをつくります。

事業開始の背景・経緯

芸術に親しみをもつ市民を増やす。

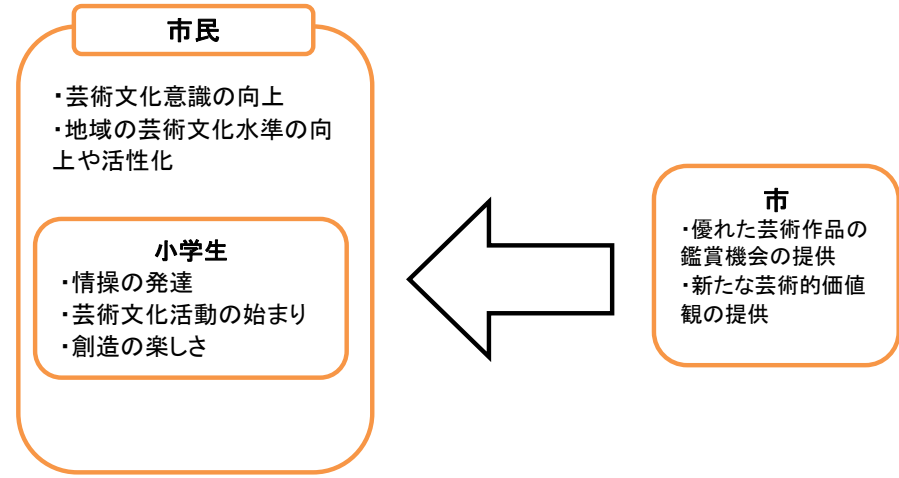
事業概要

- 小学生アートセミナー事業  
小学生の芸術文化活動の充実
- はなまきまると芸術のまち事業  
市所蔵美術品を貸出し展示することにより広く鑑賞機会の提供

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

芸術文化に日常的に触れることができるような環境づくりや、優れた芸術作品を提供できるような情報を収集する。

《事業手法の詳細》



- 小学生アートセミナー事業 74千円  
平成26年8月4,5日開催(2日間) 絵手紙、焼きものづくり  
講師謝礼 38千円  
消耗品費 24千円  
通信運搬費 12千円
- はなまきまると芸術のまち事業 80千円 (新規)  
市所蔵美術品の資料の整理と整備  
消耗品費 80千円
- 作品展示用パネル購入 1,032千円  
展示パネル 50枚、展示ポール 40本
- 共通経費 654 千円  
時間外手当496千円、報償費48千円、消耗品費110千円